

II 予算の全体概要

R6.3.28修正

1 予算の規模

未来に向けた土台づくり

『元気な三田』への再始動予算

一般会計予算 437億7,316万円 対前年度比2.8%増
 全会計予算 869億9,306万円 対前年度比1.4%増

【会計別当初予算の規模】

(単位:千円)

会 計	5年度予算 A	6年度予算 B	差引増減 B-A	伸び率	
一 般 会 計	42,596,000	43,773,160	1,177,160	2.8%	
主 な 増 減	市民センター施設 修繕費	338,545	1,193,812	855,267	
	幼稚園施設 維持補修費	284,380	689,752	405,372	
	体育館管理運営費(城山 公園、駒ヶ谷運動公園)	357,519	803,860	446,341	
	三田駅前Cブロック 地区再開発事業費	1,654,438	822,695	△ 831,743	
	社会保険経費 (扶助的経費、 特別会計支出金)	12,671,735	12,905,852	234,117	
特 別 会 計	21,624,500	22,011,700	387,200	1.8%	
企 業 会 計	21,569,044	21,208,195	△ 360,849	△ 1.7%	
計	85,789,544	86,993,055	1,203,511	1.4%	

増減の主な要因

①一般会計

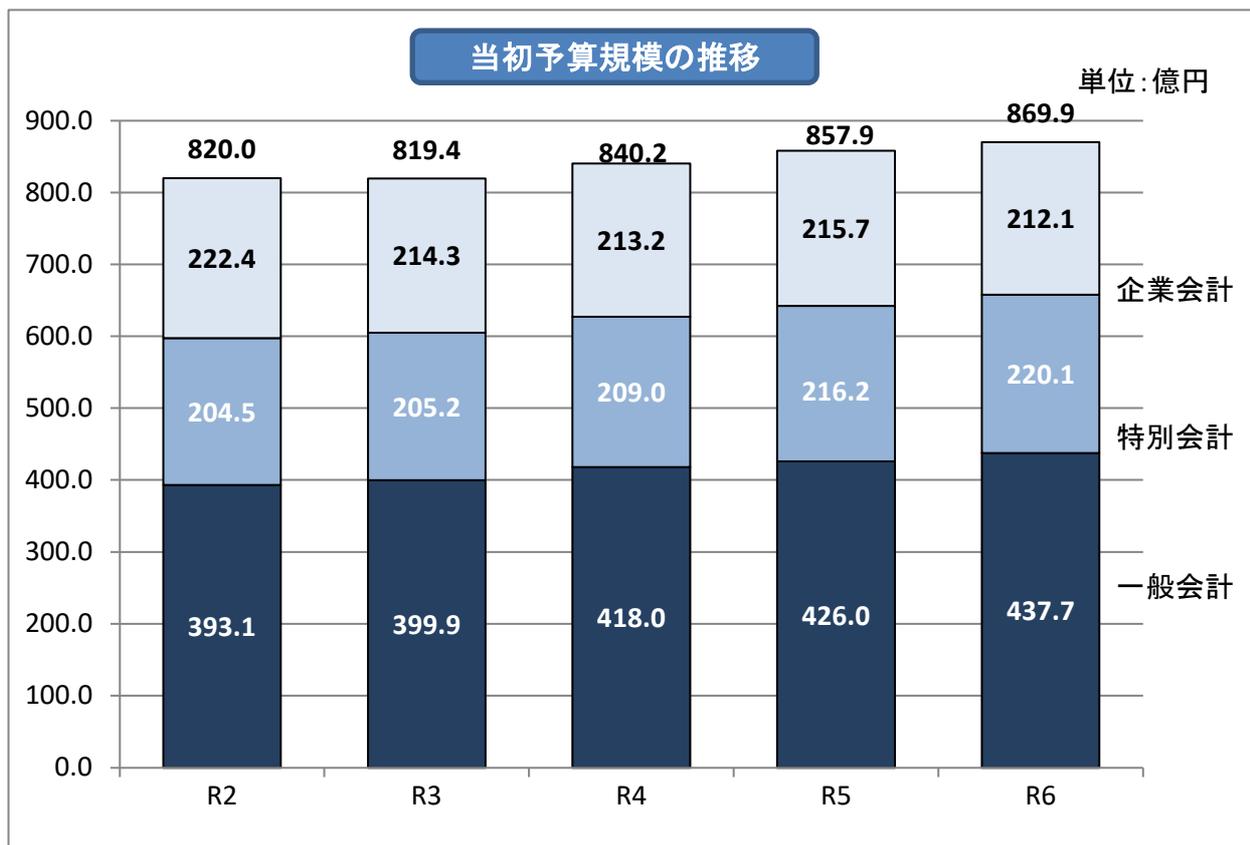
一般会計では市民センター施設修繕費が8.6億円、幼稚園施設維持補修費が4.1億円、体育館管理運営費が4.5億円、新ごみ処理施設整備事業費が3.0億円増加する一方、三田駅前Cブロック地区再開発事業費が8.3億円の減少となっており、一般会計全体では11.8億円の増となっています。

②特別会計

特別会計では主に給付費の増等により、国民健康保険事業特別会計で0.3億円の増、介護保険事業特別会計で1.1億円の増、後期高齢者医療事業特別会計で2.4億円の増となり、特別会計全体では3.9億円の増となっています。

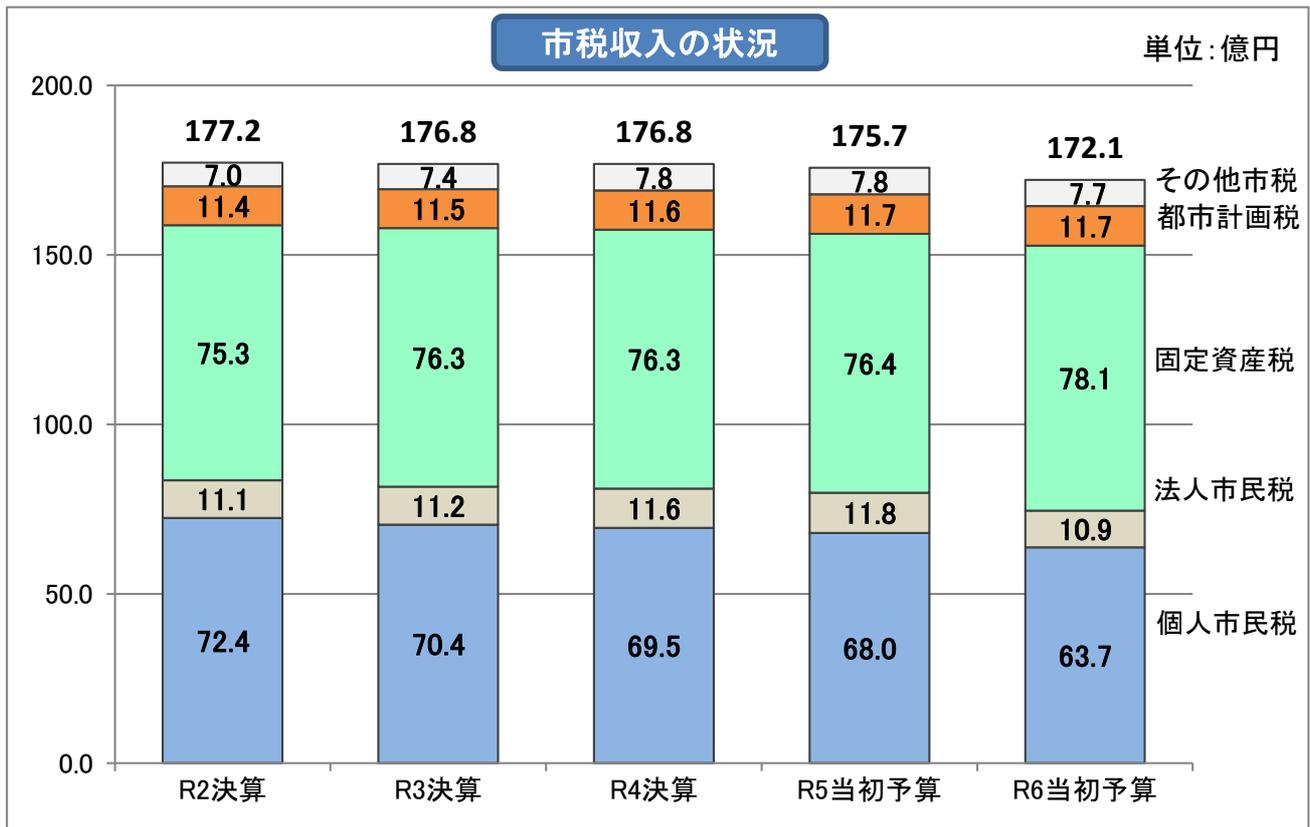
③企業会計

市民病院事業会計は材料費が増加する一方、企業債償還金の減により2.5億円の減、水道事業会計は、建設改良費の減等により1.8億円の減、下水道事業会計は、建設改良費の増等により0.7億円の増となっています。



2 市税収入の状況

- 市税収入は172.1億円で、対前年度当初比3.6億円減(2.0%減)
- 定額減税の影響により個人市民税が△4.3億円と大きく減収する見込みですが、この減収分は国から交付金として補填される見込みです。
- その他法人市民税が減収、固定資産税は増収の見込みです。



市税収入は、令和5年度当初予算より増加の見込みでしたが、定額減税の影響により全体として3.6億円の減少となる見込みです。

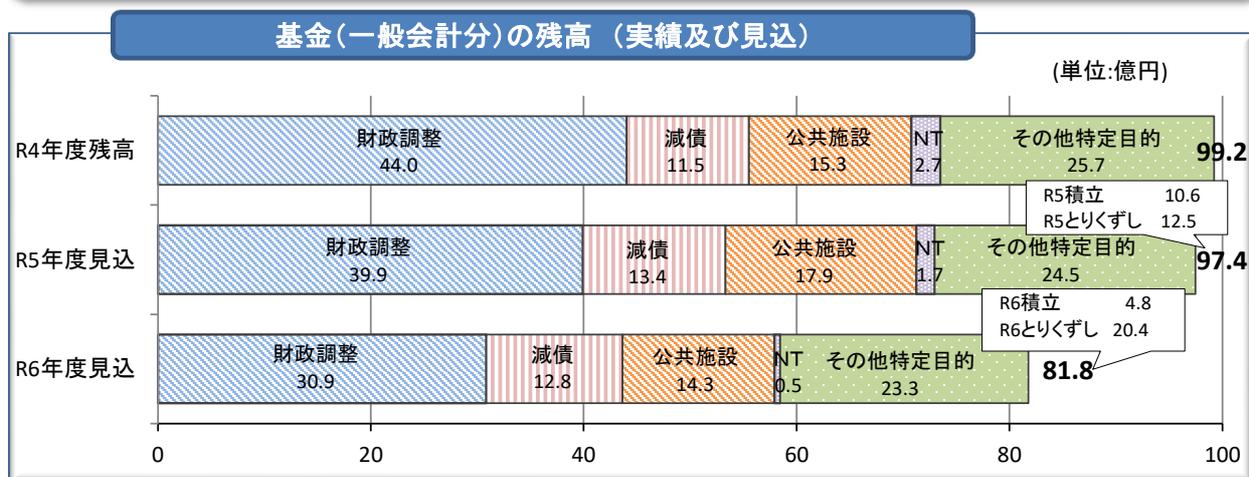
主な増減の要因は次のとおりです。

- ・ 個人市民税は所得の増加により昨年より増加の見込みでしたが、定額減税により、4.3億円の減少を見込んでいます。※定額減税分は地方特例交付金により補填される見込みです。
- ・ 法人市民税は、市内法人の収益減少により、0.9億円の減少を見込んでいます。
- ・ 固定資産税は、新規法人の事業用資産の取得により、1.7億円の増加を見込んでいます。

3 基金(貯金)残高の状況

R6.3.28修正

基金を活用して公共施設の整備・改修などを行うほか、財源調整として財政調整基金のとりぐずし9.1億円(対前年度0.3億円の増)を計上し、総額20.4億円を活用します。令和6年度末残高見込は、81.8億円(対前年度15.6億円の減)です。

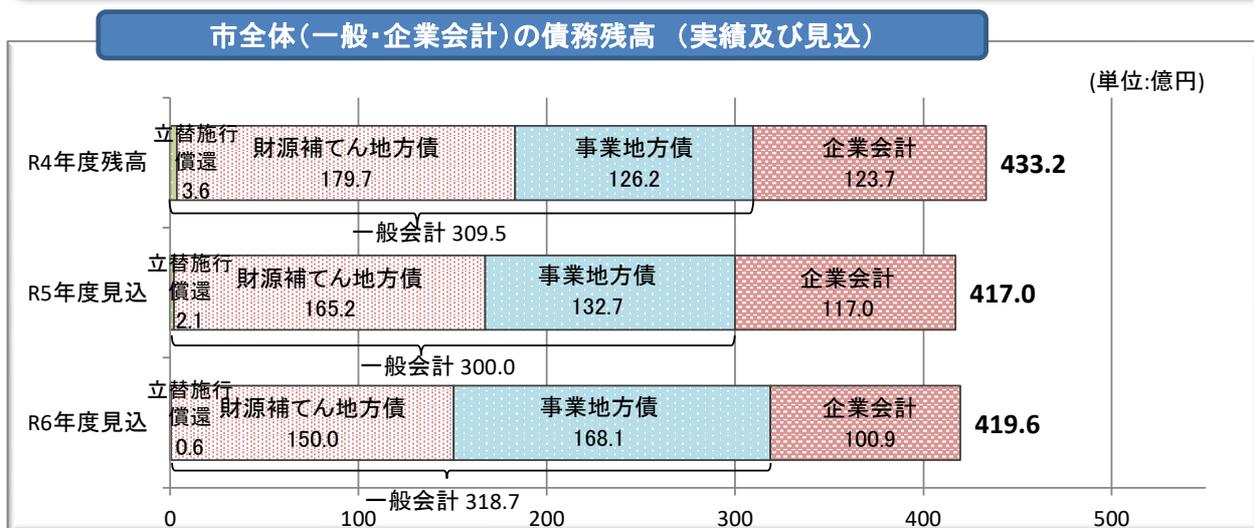


6年度は、子どもの教育や子育て支援などに3.5億円(ありがとう!三田っ子応援基金)、新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種に0.4億円(さんだエール基金)のほか、公共施設の改修等に3.8億円(公共施設等整備基金)、その他特定目的のために3.6億円、財源調整として9.1億円(財政調整)をとりぐずし、合計20.4億円を活用します。

財政調整基金のとりぐずし額が多額になっていますが、これは物価高騰が継続していることによる全体の経費増や、人件費の高騰による委託料等の支出増のほか、新統合病院整備関連事業に係る繰出金の臨時的な増によるものです。6年度はごみ処理施設の整備や市民センター改修など公共施設の大規模工事が重なったことにより、公共施設等整備基金のとりぐずし額も例年に比べて増額となっています。

4 債務(借金)残高の状況

一般会計の債務残高(立替施行償還含む)は、令和6年度末見込で318.7億円
企業会計を含む全体の債務残高は、419.6億円(対前年度2.6億円の増)



三田市の債務には、地方債の借入債務とニュータウン教育施設等の買い戻し債務(立替施行償還)があります。6年度は、老朽化した公共施設の改修や更新経費の増加などに伴い、事業地方債の残高が大きく増加し、市全体の債務残高も増加に転じる見込みです。今後も、事業地方債の増加傾向が継続することが予想されるため、収支見通しを踏まえて適正にコントロールする必要があります。